

分類	意見
計画書 P2	「自発的な生涯学習の推進」の「自発的」という表現を計画書で統一してほしい。
計画書 P3	生涯学習の領域の図をもっとわかりやすいようにしてほしい。
計画書 P27	「学びは不可欠であり」の前に「自主的、自発的な」を入れてほしい。
計画書全体	「地域」という表現を、P2にあわせて「学校・地域・団体」とすべきではないか。
指標	実施回数で把握するのか、参加者数で把握するのか？参加者数の方がよい気がする。
資料編	実際はやっているのに載っていない取り組みがある。
今後の方向性	仕事や家庭に忙しい世代のニーズの掘り起こしが重要。
	ホームページにわざわざアクセスして情報を得ようとする人は少ない。SNSで発信をしたとしても情報として伝わりにくいということもあるので、工夫が必要。
	市のボランティア講座の情報をまとめた冊子のようなものがあればよい。ボランティア活動を広めるには市内の横の連携が必要。
	時間がない人のために、SNS、ZOOMを使った講座を実施してほしい。
	スキルのある市民やボランティアが無料で活用できるような場があればよい。
	若い人が楽しく学び、ボランティアスキルをアップすることができる環境と、そういった人たちが社会の役に立っていると実感できるような取り組みが必要。
	託児付きの講座があるとボランティア養成講座への参加がしやすくなり、ボランティア仲間も増えるのではないか。
	働く人の健康増進につながる学習があればよい。

	<p>地場産業を担う人材が育つような学習が広まればよい。</p> <p>図書館に調べに行っても地場産業に関する資料が少ない。</p> <p>市民会館では収益が発生するイベントは利用料金が高くなるが、市民が講師となって教えるのであれば、金額について配慮してほしい。</p> <p>集会所を身近な学びの場として活用したい。</p>
事務局への要望	<p>講座などする際は文化協会とコミュニケーションをとりながらやってほしい。</p> <p>広報に同じ教室を紹介する場合は、受講料の金額を合わせるなど、配慮が必要。</p>
事務局の返答(計画書の修正)	<p>「公民館ホームページの開設」という表現の見直し</p> <p>「健康づくりに関する学びの充実」のところで、働く人の健康増進に関する取り組みを掲載。</p>

第3回社会教育審議会での意見

資料3

分類	意見
計画書 P35,42	働く世代がどう生涯学習に関わってくるか。ニーズをこちらから掘り起こす手法がこれからは必要。
計画書 P38	生涯スポーツについて、推進計画の範疇の中ではこれでよいが、推進計画の計画期間の間に上位計画の考え方を受けて変更が必要となる可能性もあるので、見据えていく必要がある。
計画書 P40	ホームページを見ない、SNSが見れない高齢者が結構いる。若者も興味のあるものしか見ない。SNSによる情報発信を強力に進めることがどうなのか。
計画書 P40	ホームページの内容を日々更新しないといけないが、スタッフのスキルが必要。利用しやすい施設の運営にも繋がる。
計画書 P40	人材の確保は難しいかもしれないが、公民館のホームページは必要。
計画書 P42,47	他者との共生、多様性など今後重きを置かれる内容についての項目を立ち上げるべき。
計画書 P47	公民館と学校を主体にしながら、学校と地域が協働して活動していくところをクローズアップしていかないといけない。どんな活動が展開できたかが大事。